

藤島民報

2020年9月6日

第1264号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉱一（宝徳）
TEL 0235-64-3941
携帯 090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉱一」と検索で入力を。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
(月200円程度)
8月 40人 24,628円
7月 51人 59,146円

鶴岡市農業委員2期目の改選 9月市議会で20人を同意可決

11月25日任期満了

される委員は13人です。

に設置されています。

鶴岡市では改正法により第1回目の委員の任命が17年11月臨時会で可決され、今回は2期目の改選となります。農業委員の過半数は原則として認定農業者でなければならない、とされました。

また、主に合議体としての意思決定を行う農業委員とは別に、担当区域における農地等の利用の最適化の推進のための現場活動を行う「農地利用最適化推進委員」を設置します。

また、法律の目的か

しての意思決定を行う農業委員とは別に、担当区域における農地等の利用の最適化の推進のための現場活動を行う「農地利用最適化推進委員」を設置します。また、法律の目的か

農業委員会委員（定数20人）の任期が11月25日に満了、改選となることから、9月市議会開会初日の1日、新委員の任命について提案され、全員賛成で同意可決されました。

農地利用最適化推進委員から委員になつたのが10人、今期で退任した。

委員の推薦及び応募が①一般推薦1人、②団体推薦16人、③応募6人の計23人があり、そのうち20人が選考委員会で選ばれました。

農地利用最適化推進委員から委員になつたのが10人、今期で退任した。

退任する農業委員

1 森 繁太	たらのき代
2 菅原久継	大岩川
3 斎藤 力	羽黒町川代
4 奥山康光	小中島
5 前田 浩	丸岡
6 伊藤由紀子	熊出
7 石川 守	野田目
8 高橋 聰	羽黒町町屋
9 鈴木 裕	平田
10 今野喜好	大山
11 木村 充	矢馳
12 太田裕徳	馬町
13 重松美鈴	西荒屋

農業委員会は、農地の売買や貸借の許可、農地転用への意見貢献、遊休農地の調査・指導などを中心に、農地についての事務を行う行政委員会として市町村

法の一環として、農業委員会法が「改正」され、16年4月に施行。これまでの公選制を廃止して市町村長による任命制が導入されました。

農業委員会は、農地の売買や貸借の許可、農地転用への意見貢献、遊休農地の調査・指導などを中心に、農地についての事務を行う行政委員会として市町村

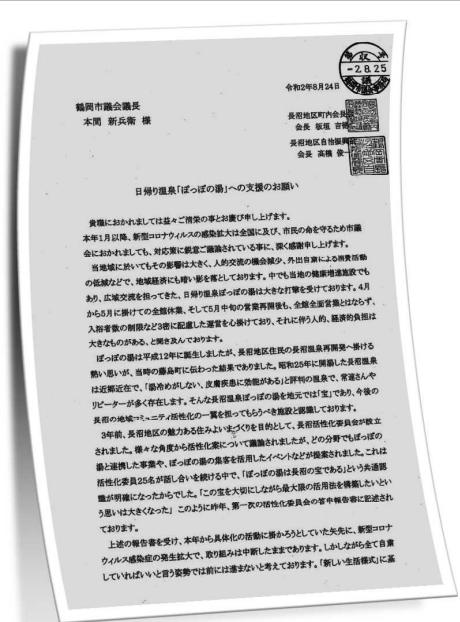
9月議会で同意された鶴岡市農業委員

鶴岡市農業委員会委員	現職
1 渡部長和	東岩本 会長
2 佐藤みほ	熊出 委員
3 大池典子	淀川町 委員
4 小林義一	黒川成沢 最適化推進委員
5 五十嵐覚	関川 委員
6 土岐善久	大広 委員
7 佐藤康弘	新海町 最適化推進委員
8 石塚治己	三瀬 会長職務代理者
9 佐久間豊	西荒屋 最適化推進委員
10 新館 登	川代山 最適化推進委員
11 坂東陽水	勝福寺 委員
12 荻原優太	大山 最適化推進委員
13 高橋好博	和名川 庄内赤川土地改良区理事
14 大沼恒志	長沼宮前 JA庄内たがわ理事
15 丸山成章	たらのき代 NOSAI山形理事
16 工藤久子	藤島 最適化推進委員
17 阿部元成	面野山 最適化推進委員
18 金野匡良	羽黒町猪俣新田 最適化推進委員
19 吉住喜之	白山 最適化推進委員
20 石井光明	添川 最適化推進委員

長沼地区町内会・板垣吉徳会長と同自治振興課・高橋俊一会長の連名で、鶴岡市議会本間新兵衛議長に8月24日、日帰り温泉「ぽっぽの湯」への支援のお願いが、文書で提出されました。

新型コロナの影響で、4、5月の全館休業、営業再開後の3密に配慮した運営など人的、経済的負担は大きいと訴えています。

3年前に設立した長



長沼温泉ぽっぽの湯 地元住民が市議会に支援要請 「現在の急場に最大限のお力添えを」

沼活性化委員会では「ぽっぽの湯は長沼の宝」として、最大限の活用をしていくとしています。

員からは、行財政改革の対象として「ぽっぽの湯」のあり方を問い合わせる議論が出され、

計上も焦急です。

新潟県コロナの教訓は、行事リストラではなく、地域の活性化へ予算を回すことです。

